

食育活動 子ども食堂いちょう庵×家庭クラブ①

第2弾

前回（5/29）の活動から、次は私たちから食育活動を発信したいとの思いで、2回目のボランティア活動に参加しました。7月25日（月）8:30~16:30。参加者関高生19名、小学生60名。活動内容は、食育推進活動、食事の提供、学習支援。当日は晴天に恵まれ大変暑い一日でしたが、円通寺といちょう庵の二つの施設を併用し、熱中症防止と感染症対策に配慮しながら活動を進めました。



【子ども食堂って?】

地域住民などによる民間初の取り組みとして無料、または安価で栄養のある食事や団らんなどを提供する場、家庭における共食が難しい子どもたちに対して、共食の機会を提供する場であり、地域における食育を推進する役割を担っています。（農林水産省HPより）

【子ども食堂“いちょう庵”】

いちょう庵さんは、空き寺になった勸修寺を多くの人が集まるコミュニティスペースにしようといくられた施設です。一般の子ども食堂が行っている役割に加え、地産地消とフードロス削減のために余剰食材を活用し子どもたちに料理を提供しています。カフェやマルシェ、ヨガ教室などのイベントも開催され、子どもから大人まで安心して利用でき、笑顔があふれる場所として、高齢者の引きこもりや学童保育などの問題解決の一助になっています。（アグリミーティング 家庭クラブ発表より）



円通寺

食育活動 子ども食堂いちょう庵×家庭クラブ②

第2弾



午前中は、主に子どもたちの夏休みの宿題支援を行い、10時頃から、昼食準備に取りかかりました。大量調理は初めての体験でしたが、100食分のカレーとコーヒーゼリーを調理しました。とっても美味しくいただきました。もちろん完食ですよ。



午後からは、いちょう庵に併設する本格ピザ窯で手作りピザに挑戦です。薪で焼くあつあつハニーシュガーピザ。「食べたい人は並んでね～」の声に子どもたちは行列です。

青空のもとでいただくおやつは格別！



食育活動 子ども食堂いちょう庵×家庭クラブ③



食育推進活動として「食」にまつわる絵本の読み聞かせをしました。テーマは「食はいのち」。準備した絵本をうまく読んであげられるかととても心配でしたが、真剣に耳を傾けてくれる子どもたちに、心とむ時間を過ごすことができました。



「子ども食堂」食育ボランティア活動を進めるにあたり、初めてのことが多く、コロナ禍で活動がうまく進むか不安でした。しかし、多くの方のおかげで、思い描いていたことが実現し、とても充実した毎日を過ごすことができました。私たちの思いに賛同し、ご協力くださったみなさん、本当にありがとうございました。

この活動を経て、私たち高校生にも地域社会において果たすべき役割があることが分かり、活動意義を見出すことができました。フードロス削減の取り組みは、食品廃棄費用の削減や、地球温暖化の防止に繋がるなど私たちの暮らしに多くの利点をもたらします。これを機会に皆にフードロスの問題を知ってもらい、同時に命をいただくことへの感謝を改めて感じてもらえたら嬉しいです。私たち一人一人の意識を見直し、将来の住みやすい街づくりにむけて協働することが大切です。

家庭クラブ会長 西村花菜

